

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月27日

上場会社名 JSR株式会社

上場取引所 東大

コード番号 4185 URL <http://www.jsr.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 小柴 満信

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長

(氏名) 宇野 毅

TEL 03-6218-3517

四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	67,652	△33.3	△3,175	—	△2,494	—	△4,609	—
21年3月期第1四半期	101,395	—	13,996	—	15,803	—	8,712	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△18.87	△18.86
21年3月期第1四半期	34.82	34.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	336,985	235,447	69.5	959.32
21年3月期	339,497	241,985	71.0	986.33

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 234,301百万円 21年3月期 240,896百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		13.00	—	13.00	26.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	135,000	△35.1	1,500	△94.3	1,500	△94.6	△1,500	—	△6.14
通期	290,000	△17.7	15,000	△50.6	16,000	△48.6	10,000	△28.5	40.94

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

第2四半期連結累計期間、通期とも、4月27日に発表しました数値と変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 255,885,166株 21年3月期 255,885,166株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 11,649,108株 21年3月期 11,648,666株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 244,236,279株 21年3月期第1四半期 250,218,175株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

経営成績

当第1四半期（平成21年4月1日から同年6月30日）の概況

当第1四半期におけるわが国経済は、個人消費や輸出に持ち直しの動きがみられるものの、前年後半から続く世界経済の大幅な減退から回復するに至っておらず、生産活動は極めて低い水準で推移しました。

当社グループの主要な需要業界におきましても、自動車、自動車タイヤ、製紙の生産は、世界的な需要減退の影響により、前年を大幅に下回って推移しました。半導体やフラットパネル・ディスプレイにつきましても、一部に回復の兆しがみられるものの、生産は前年を大幅に下回って推移しました。

原料面では、前年上期に高騰したナフサ価格はその後下落しましたが、再び上昇基調となっております。

このような状況のもと、当社グループは、石油化学系事業では輸出の拡販に、また情報電子材料を中心とした多角化事業ではグローバルマーケットでの展開に注力いたしました。また、引き続き全グループ企業が一体となってコスト削減に努めました。しかしながら、世界経済の停滞に伴う需要減少の影響が、当社グループの業績に大きな影響を及ぼしました。

以上の結果、当第1四半期の売上高は676億52百万円（前年同期比33.3%減）、営業損失31億75百万円、経常損失24億94百万円、四半期純損失46億9百万円となりました。

(単位：百万円)

区 分	前年第1四半期		当第1四半期		増減		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率	
売 上 高	エラストマー事業	33,258	32.8%	19,342	28.6%	△13,916	△41.8%
	エマルジョン事業	7,273	7.2%	3,635	5.4%	△3,638	△50.0%
	合成樹脂事業	17,244	17.0%	10,673	15.8%	△6,570	△38.1%
	多角化事業	43,618	43.0%	34,000	50.2%	△9,617	△22.0%
	合計	101,395	100.0%	67,652	100.0%	△33,743	△33.3%

国内売上高	59,931	59.1%	35,547	52.5%	△24,384	△40.7%
海外売上高	41,464	40.9%	32,104	47.5%	△9,359	△22.6%

区 分	前年第1四半期		当第1四半期		増減	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	比率
営業損益	13,996	13.8%	△3,175	△4.7%	△17,171	—
経常損益	15,803	15.6%	△2,494	△3.7%	△18,298	—
四半期純損益	8,712	8.6%	△4,609	△6.8%	△13,321	—



(部門別の概況)

(エラストマー事業部門)

合成ゴムの国内につきましては、スチレン・ブタジエンゴム、ポリブタジエンゴムなどの汎用合成ゴムは、自動車タイヤ用需要の減少により、販売数量、売上高ともに前年同期を大幅に下回りました。ニトリルゴムなどの機能性特殊ゴムも、自動車生産の減少により、販売数量、売上高ともに前年同期を大幅に下回りました。輸出につきましては、汎用合成ゴムを中心に拡販を行った結果、販売数量、売上高ともに前年同期を上回りました。

収益面では、コスト削減に努めましたが、需要が大幅に減少したことに加え、急激な需要の減少に伴い生産調整を余儀なくされたこと等により、採算が悪化し営業赤字となりました。

以上の結果、当第1四半期のエラストマー事業部門の売上高は前年同期比41.8%減の193億42百万円、営業損益は43億96百万円の損失となりました。

(エラストマー事業)

(単位：百万円)

	前年第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
売上高	33,258	19,342	△13,916	△41.8%
営業損益	3,028	△4,396	△7,425	—
営業損益率	9.1%	△22.7%	—	—

(エマルジョン事業部門)

主力製品の紙加工用ラテックスは、塗工紙生産が減少したことにより、販売量、売上高ともに前年同期を大幅に下回りました。

収益面では、コスト削減に努めましたが、需要が大幅に減少したため採算が悪化し営業赤字となりました。

以上の結果、当第1四半期のエマルジョン事業部門の売上高は前年同期比50.0%減の36億35百万円、営業損益は4億78百万円の損失となりました。

(エマルジョン事業)

(単位：百万円)

	前年第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
売上高	7,273	3,635	△3,638	△50.0%
営業損益	49	△478	△528	—
営業損益率	0.7%	△13.2%	—	—



(合成樹脂事業部門)

自動車、建材、家庭電化製品、アミューズメント向けの需要が国内外ともに低調に推移したため、販売数量、売上高ともに前年同期を大幅に下回りました。

収益面では、コスト削減に努めましたが、需要が大幅に減少したことに加え、急激な需要の減少に伴い生産調整を余儀なくされたこと等により、採算が悪化し営業赤字となりました。

以上の結果、当第1四半期の合成樹脂事業部門の売上高は前年同期比38.1%減の106億73百万円、営業損益は12億円の損失となりました。

(合成樹脂事業)

(単位：百万円)

	前年第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
売上高	17,244	10,673	△6,570	△38.1%
営業損益	605	△1,200	△1,805	—
営業損益率	3.5%	△11.2%	—	—

(多角化事業部門)

半導体製造用材料では、日本、アジア、米国において需要回復の兆しがみられ、ArF（フッ化アルゴン）レジストや多層材料を中心に前四半期からは売上が回復しました。ただし、前年同期の需要と比べると低水準であり、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

フラットパネル・ディスプレイ用材料では、LCD（液晶ディスプレイ）用材料は、日本、韓国、台湾とも需要回復の兆しがみられ、前四半期からは売上が回復しましたが、前年同期の需要と比べると低水準であり、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

光学材料では、主力製品である光ファイバー用コーティング材料は、輸出ファイバーの需要が急回復した影響で、売上高は前年同期を上回りました。

収益面では、コスト削減に努めましたが、前年同期と比べて需要の減少が収益を大きく圧迫しました。

以上の結果、当第1四半期の多角化事業部門の売上高は前年同期比22.0%減の340億円、営業利益は前年同期比71.9%減の29億円となりました。

(多角化事業)

(単位：百万円)

	前年第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
売上高	43,618	34,000	△9,617	△22.0%
営業損益	10,312	2,900	△7,412	△71.9%
営業損益率	23.6%	8.5%	△15.1%	—

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べて25億12百万円減少しました。

流動資産では、たな卸資産が在庫調整の進展と不良資産の廃棄を行ったことなどから93億85百万円減少しました。一方、受取手形及び売掛金（純額）は売上が前四半期に比べて回復していることから30億12百万円の増加となりました。流動資産合計は、56億57百万円の減少となりました。

固定資産では、当社四日市工場に先端リソグラフィ材料の生産工場を新設したことと、今期から新しく連結することになったJMエナジー株式会社の資産が加わったことなどから有形固定資産は38億51百万円増加しました。固定資産合計では、31億44百万円の増加となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べて40億25百万円増加しました。

流動負債では、原料価格が上昇している影響等により支払手形及び買掛金が35億50百万円増加しました。流動負債合計では、41億52百万円の増加となりました。

固定負債には大きな増減はなく、固定負債合計で1億27百万円の減少となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて65億38百万円減少しました。利益剰余金は、四半期純損失による減少46億9百万円、配当金支払いによる減少39億7百万円等により、97億3百万円の減少となりました。この結果、自己資本比率は69.5%、1株当たり純資産は959円32銭となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年4月27日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税金等調整前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,483	16,909
受取手形及び売掛金(純額)	55,794	52,782
有価証券	21,115	21,492
たな卸資産	67,570	76,955
その他	21,843	22,323
流動資産合計	184,806	190,463
固定資産		
有形固定資産	95,328	91,476
無形固定資産	6,837	6,723
投資その他の資産	50,013	50,834
固定資産合計	152,178	149,034
資産合計	336,985	339,497
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,185	39,635
短期借入金	14,389	14,339
その他	22,746	22,194
流動負債合計	80,322	76,169
固定負債		
退職給付引当金	15,074	14,820
その他の引当金	3,197	3,215
その他	2,942	3,306
固定負債合計	21,214	21,342
負債合計	101,537	97,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,320	23,320
資本剰余金	25,179	25,179
利益剰余金	208,811	218,515
自己株式	△22,217	△22,216
株主資本合計	235,093	244,797
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,411	645
為替換算調整勘定	△4,204	△4,546
評価・換算差額等合計	△792	△3,900
新株予約権	341	310
少数株主持分	805	778
純資産合計	235,447	241,985
負債純資産合計	336,985	339,497

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	101,395	67,652
売上原価	71,787	56,914
売上総利益	29,608	10,737
販売費及び一般管理費	15,612	13,912
営業利益又は営業損失 (△)	13,996	△3,175
営業外収益		
持分法による投資利益	482	294
その他	2,230	1,007
営業外収益合計	2,712	1,301
営業外費用		
営業外費用合計	904	621
経常利益又は経常損失 (△)	15,803	△2,494
特別損失		
たな卸資産廃棄損	—	1,728
事業再編損	—	1,084
たな卸資産評価損	1,685	—
特別損失合計	1,685	2,812
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 (△)	14,118	△5,307
法人税等	5,255	△693
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	150	△4
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	8,712	△4,609

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	14,118	△5,307
減価償却費	5,573	5,047
受取利息及び受取配当金	△458	△211
支払利息	70	53
持分法による投資損益(△は益)	△482	△294
売上債権の増減額(△は増加)	△912	△3,015
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,799	9,792
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,089	2,879
その他	4,218	3,719
小計	15,238	12,662
利息及び配当金の受取額	1,290	646
利息の支払額	△70	△54
法人税等の支払額	△8,350	△882
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,108	12,371
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△6,752	△6,727
投資有価証券の取得による支出	△1,362	—
投資有価証券の償還による収入	2,000	—
関係会社株式の取得による支出	△300	—
貸付けによる支出	△1,408	△1,058
貸付金の回収による収入	335	461
その他	△932	167
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,421	△7,157
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△202	△44
長期借入金の返済による支出	△207	—
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△3,990	△3,909
少数株主への配当金の支払額	△26	△2
その他	—	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,429	△3,958
現金及び現金同等物に係る換算差額	△275	363
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,017	1,619
現金及び現金同等物の期首残高	61,724	37,125
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	255
現金及び現金同等物の四半期末残高	56,706	39,000



(4) 継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	エラストマー事業 (百万円)	エマルジョン事業 (百万円)	合成樹脂事業 (百万円)	多角化事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	19,342	3,635	10,673	34,000	67,652	—	67,652
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	84	678	—	4,551	5,315	(5,315)	—
計	19,427	4,313	10,673	38,552	72,967	(5,315)	67,652
営業損益(△は損失)	△4,396	△478	△1,200	2,900	△3,175	—	△3,175

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	エラストマー事業 (百万円)	エマルジョン事業 (百万円)	合成樹脂事業 (百万円)	多角化事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	33,258	7,273	17,244	43,618	101,395	—	101,395
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	142	1,097	—	3,466	4,706	(4,706)	—
計	33,401	8,371	17,244	47,084	106,102	(4,706)	101,395
営業利益	3,028	49	605	10,312	13,996	—	13,996

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、事業目的において区分された項目別とし、その事業規模も勘案して、エラストマー事業・エマルジョン事業・合成樹脂事業及び多角化事業に区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主 要 製 品
エラストマー事業	汎用合成ゴム、機能性特殊ゴム、熱可塑性エラストマー、原料ゴムの精練加工品等
エマルジョン事業	紙加工用ラテックス、一般産業用ラテックス、アクリルエマルジョン、原料ラテックスの精練加工品等
合成樹脂事業	ABS樹脂、AES樹脂、AS樹脂、ASA樹脂、合成樹脂の着色加工品等
多角化事業	半導体製造用材料(フォトレジスト、CMP材料、実装材料、多層材料等)、フラットパネル・ディスプレイ用材料(カラー液晶ディスプレイ用材料、プラズマ・ディスプレイ用材料等)、光学材料(光ファイバー用コーティング材料、機能性コーティング材料、反射防止膜材料、耐熱透明樹脂及び機能性フィルム等)、機能化学材料(高機能コーティング材料、多機能高性能分散剤、工業用粒子、メディカル関連粒子等)、化成品、電子機器部品の検査治具・装置等



【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	49,320	15,527	2,804	67,652	—	67,652
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	11,223	23	1,279	12,527	(12,527)	—
計	60,544	15,551	4,083	80,179	(12,527)	67,652
営業損益 (△は損失)	△3,765	272	317	△3,175	—	△3,175

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	76,966	19,679	4,750	101,395	—	101,395
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	17,299	20	1,618	18,937	(18,937)	—
計	94,265	19,699	6,368	120,333	(18,937)	101,395
営業利益	11,128	2,248	619	13,996	—	13,996

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………中国、韓国、台湾、タイ

(2) その他の地域……………米国、欧州

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高 (百万円)	27,817	1,988	2,299	32,104
II 連結売上高 (百万円)	—	—	—	67,652
III 連結売上高に占める海 外売上高の割合 (%)	41.1	2.9	3.5	47.5

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高 (百万円)	34,422	3,208	3,832	41,464
II 連結売上高 (百万円)	—	—	—	101,395
III 連結売上高に占める海 外売上高の割合 (%)	33.9	3.2	3.8	40.9



JSR株式会社
可能にする、化学を。

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
- 2 各区分に属する主な国又は地域
- (1) アジア……………中国、韓国、台湾、タイ、シンガポール
 - (2) 北米……………米国
 - (3) その他の地域…欧州他
- 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高である。
- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

【参考】

(1) 損益状況 <前年同期からの四半期推移>

(単位:百万円)

	平成21年3月期					平成22年3月期
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期
売上高	101,395	106,642	85,994	58,470	352,502	67,652
営業損益	13,996	12,169	8,053	△3,872	30,347	△3,175
経常損益	15,803	12,018	6,182	△2,893	31,111	△2,494
四半期純損益	8,712	7,492	2,758	△4,981	13,981	△4,609

(2) 事業の種類別セグメント情報 <前四半期との対比>

(単位:百万円)

	平成21年3月期 第4四半期		平成22年3月期 第1四半期		増減	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
エラストマー事業	16,958	△639	19,342	△4,396	2,383	△3,756
エマルジョン事業	3,807	△292	3,635	△478	△172	△186
合成樹脂事業	12,302	△891	10,673	△1,200	△1,628	△309
多角化事業	25,401	△2,049	34,000	2,900	8,599	4,949
連結	58,470	△3,872	67,652	△3,175	9,181	697

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 <前年同期との対比>

(単位:百万円)

	平成21年3月期 第1四半期	平成22年3月期 第1四半期	増減
営業キャッシュ・フロー	8,108	12,371	4,263
投資キャッシュ・フロー	△8,421	△7,157	1,263
財務キャッシュ・フロー	△4,429	△3,958	470
現金及び現金同等物	56,706	39,000	△17,706